



みらフェスに市内外から8千人

ハロウィーンの時季に合わせて開いた「みらフェス」で、子どもたちにSDGs（持続可能な開発目標）や防災について考えてもらおうと、市内の事業者と連携し、らんま先生による実験ショーやVR（仮想現実）による防災体験を実施。屋内外でさまざまなステージ発表があったほか、工作や体験、飲食など各種ブースが並び、市内外から訪れた親子連れ約8千人が、秋晴れの下でイベントを楽しみました。〔10月29日／みらいえ〕



「健幸都市の実現」を目指して

住み慣れた地域で健康で幸せに暮らし続けられる社会の実現を目指す「スマートウェルネスシティ首長研究会」が開かれ、全国の自治体や大学、民間企業の代表者約200人が参加。学識経験者が最新の取り組みを紹介し、知見を共有しました。同研究会は平成21年に発足し、現在は43都道府県の126市区町村が加盟。政策で連携しながら、健幸都市の実現に向けた取り組みを進めています。〔10月25日～26日／市民交流施設〕



選手らが丹波路かける— 県高校駅伝で大きな声援

男子第78回・女子第40回兵庫県高校駅伝競走大会に、市内から西脇工業高校の男女と西脇高校女子が出場。県内の地区予選を勝ち抜いた男子39校、女子27校とともに、全国大会への出場権を争いました。西脇工業高校男子は2時間08分26秒の第3位、女子は1時間12分33秒の第2位でゴール。男女そろって入賞を果たし、近畿大会出場を決めました。また、19年ぶり11回目の出場となった西脇高校女子は、1時間25分56秒の第18位でした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年から声を出す応援や沿道での応援を自粛するよう呼び掛けられましたが、今大会は4年ぶりに通常どおりの開催に。沿道に多くの人が詰めかけ、丹波路を力走する選手の皆さんに温かい声援を送りました。〔11月5日／丹波篠山市〕



紅葉の下で芸能楽しむ

市文化連盟が4年ぶりに開いた照楓会で、来場者は鮮やかに色付いたモミジやイチョウをめでながら茶席を堪能。5団体による詩吟や民謡、和楽器のステージもあり、古刹で伝統芸能を楽しみました。〔11月19日／西林寺（坂本）〕



歯の健康の大切さPR

11月8日の「いい歯の日」にちなんだイベントで、西脇市多可郡歯科医師会が歯の健康の大切さを啓発。参加者は歯科健診を受診したり、フッ素を塗ってもらったりして正しい口腔ケアについて学びました。〔11月12日／みらいえ〕



黒田庄産和牛に舌鼓

特製ダレで味付けされた黒田庄産和牛の焼き肉が学校給食に登場。学校給食センターでは給食での地産地消に力を入れており、子どもたちは市内産の食材をふんだんに取り入れた特別メニューに舌鼓を打ちました。〔11月14日／市内〕



自慢の商品ずらり

地域産業のPRを目的に実行委員会が「にしわか産業フェスタ」と「西脇市農業祭」を開催。市内企業のブース、名物を集めた飲食エリア、加工品や野菜などの販売ブースのほか、全国へそのまち協議会加盟市町村の特産品を集めたコーナーが設けられました。ステージイベントも行われ、約9千人が来場しました。〔11月19日／オリナス〕



加古川線の利用者増へ— 駅前で催し

JR加古川線に親んでもらい、日常利用の促進につなげようと、市は兵庫県などとともに駅前でイベントを開催。丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会が、丹波竜などの化石が見つかった1億1千万年前の地層「篠山層群」の石を用意し、参加者がハンマーで割って化石を探しました。〔10月22日／日本へそ公園〕